

## ヤマガラ

スズメ位の大きさの、シジュウカラの仲間です。シジュウカラは、白っぽい色をしています。この鳥は背と腹が赤茶色をしています。全国に留鳥として分布し繁殖しています。

常緑広葉樹や落葉広葉樹の林に生息し、木の多い市街地の公園でも見られます。普段は、林の上層で生活し枝から枝に移動しながら昆虫などを食べています。虫のいなくなる冬季は、木の実を食べます。ドングリなどの大きな実は、器用に足指ではさんで動かないようにして食べます。たくさん木の実を見つけると、幹の割れ目などに埋め込んで蓄える習性があります。

巣は、もともと樹洞（じゅどう）ですが巣箱もよく利用します。コケ類を敷きつめ、椀形の巣を作ります。

冬季は、同じカラ類のシジュウカラやコガラ、エナガなどと一緒に群れをつくって生活しています。



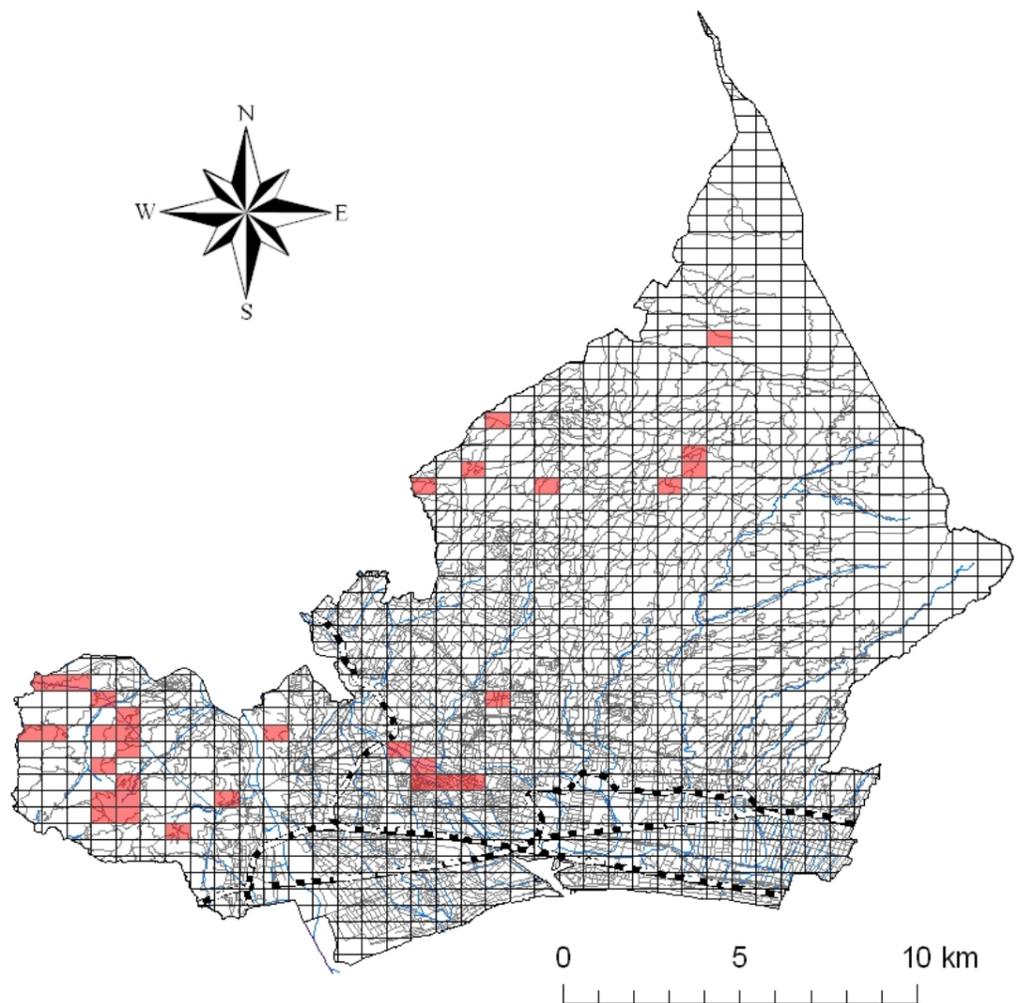
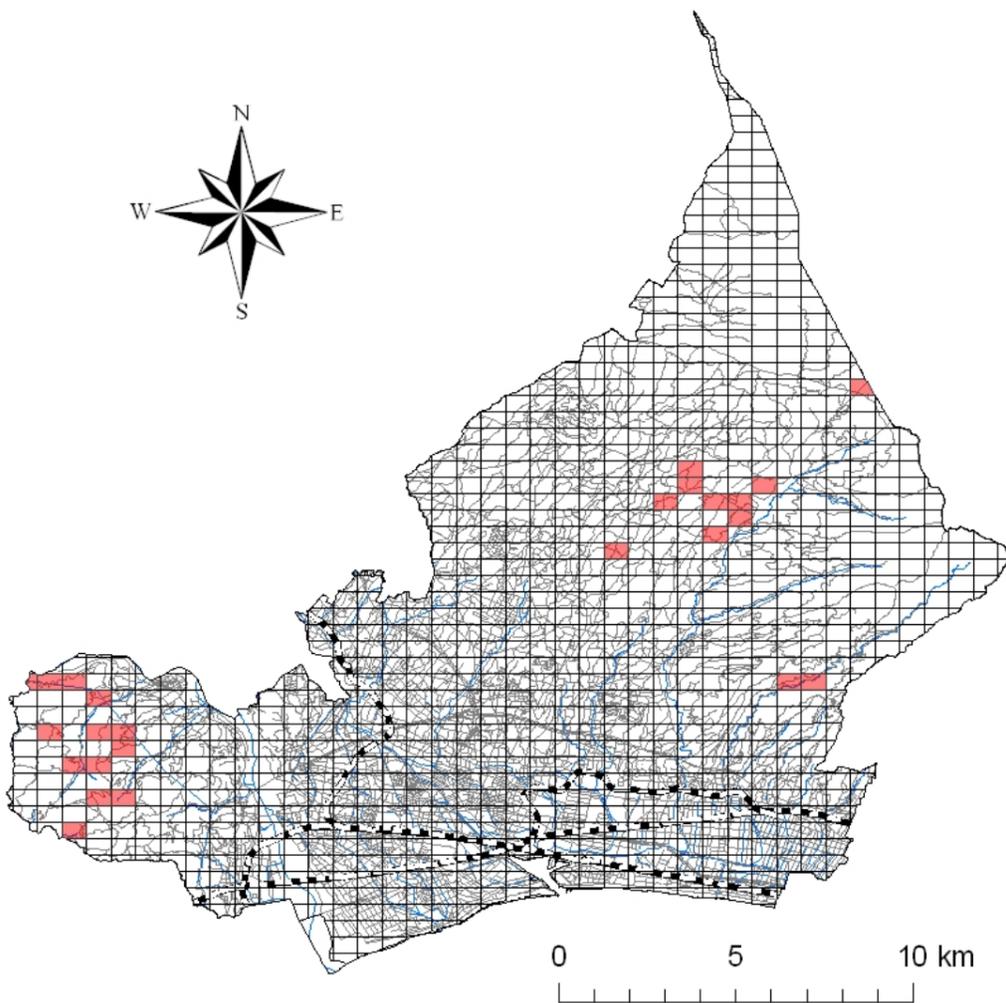
### 富士市の現状

丸火公園や岩本山公園、野田山健康緑地などでよく見られます。冬季には、市街地の公園や庭にやって来ることがありますが、シジュウカラに比べると数は少ないです。丸火公園では、巣箱をよく利用しています。

### ヤマガラを確認したメッシュ

夏

冬



※ 平成18年より調査しているため、日本測地系の2分の1標準地域メッシュを使用しています。